

一般質問
12 議員登壇

市政を問う



改築予定の岩川小学校

問 水道料金の剰余金である内部留保資金が毎年増えている。現在では水道事業の年間予算の2倍にあたる9億2千万円と大きい。一方、曾於市の水道料



徳峰 一成 議員

市長／引き下げは必ずかしい

水道料金の引き下げを

金は都城市や志布志市にくらべて高い。このため内部留保資金の一部、約3千万円程度を水道料金の引き下げにまわすべきではないか。

市長 今後人口減少にともない収益の減少が予想される中、引き下げを行うことは必ずかしい。

宅配サービス改善と 取り組みの強化を

問 今年8月に事業が始まった宅配サービスの取り組みを聞きたい。

市長 登録者が現在、未吉10名、大隅11名、財部1名である。

問 この事業は最初から準備が弱く、軌道に乗っていない。市長の公約でもあり、平成28年4月からは本格的な軌道に乗せるべきではないか。

市長 利用者増をはかるため各団体をお願いしながら、商品の充実を図り進めていきたい。

岩川小の全面改築など 今後の財源確保は

問 以下の15の事業は必要でありながら、多くが具体的計画がみられない。市の考え方と事業に必要な財源確保

について聞きたい。

市長 以下のような計画をもっている。

事業名	事業年度	事業費
岩川小全面改築	岩川高校跡地へ検討31~32年度	17億5千万円
末吉小全面改築	検討していない	—
畑かん負担金(北部畑かん・大隅南畑かん)	28~33年度	26億5千万円
宅地分譲	28年度	2500万円
有線放送電柱撤去	28~30年度	1億500万円
橋梁改修	28~32年度	3億3千万円
市民プール改修	検討していない	—
桜ヶ丘住宅	検討	—
末吉地区住宅建設	今後検討	—
地域振興住宅	29年度までに	3億1千万円
大隅文化会館改修	今後検討	—
大隅中央公民館改修	今後検討	—
大隅・財部支所改修	検討していない	—
八合原道路等整備	29~33年度	3億3500万円
メセナ温泉宿泊改修	検討していない	—
医師会病院建設負担金	検討していない	—

問 財政健全化を維持するなかで、これらの事業をおこなうことは大変困難。このため今の段階から事業に必要な財源確保については、深い議論と検討を重ねていただきたい。

市長 今後対応していきたい。

内部留保資金の一部を使って、水道料金の引き下げを

ちょっとひとりごと

曾於市農業の後継者対策は

市長／定年後の就農や兼業農家育成に努める



泊ヶ山正文 議員

かでどのような具体的対策が講じられるかによって、本市農業への影響が明らかになる。

問 TPP大筋合意を受け、本市農業にどのような影響が考えられるか。

問 肉用牛部門の今後5年後、10年後の自然離農をどれほど試算しているか。

市長 平成27年1月現在1109戸であり、5年後の平成32年の離農戸数は380戸、10年後の平成37年の離農戸数は590戸と試算している。



高値相場のセリ市

市長 農業従事者数は6847人で、平成32

問 耕種部門の今後5年後、10年後の自然離農をどれほど試算しているか。

年で約490人、平成37年で約600人が離農すると推測される。

問 70歳以上の中規模肉用牛農家の割合は。

市長 70歳以上で10頭以上50頭未満の中規模肉用牛農家数は、103戸で農家数1109戸の9.3%になる。

問 70歳以上の中規模肉用牛農家の後継者状況は。

市長 70歳以上の中規模肉用牛農家数は、103戸で、うち後継者がいる農家数は48戸、後継者がいない農家数は55戸である。

自然災害対策は

問 市内の県河川、市河川の割合は。

市長 県が管理する1級河川と2級河川は15河川・延長134km、



除去の急がれる寄州

市が管理する準用河川と普通河川は64河川・延長133kmである。

問 寄州の除去を早急に進めるべきと思うが市長の考えは。

市長 寄州については、河川断面が小さくなり、川の流れを阻害し氾濫の原因となるので、危険な所については、早急な対応が必要と考えている。

曾於市育英奨学金制度は

問 育英奨学金制度を利用している人数は。

市長 一般育英奨学金が69名、愛甲育英奨学金が4名の合計73名である。

問 3町ごとの割合は。

市長 末吉町が36名、大隅町が24名、財部町が13名である。

問 奨学金の返済免除の市町村はないか。

市長 現時点で返済免除を行っている自治体は県内ではないが、県外では大学等卒業後、当該自治体に一定期間定住する等により返済を免除している自治体や、今後免除を予定している自治体がある。

問 市内に就職、就農した時に、返済免除はできないか。

市長 市内に就職、就農した時の返済免除については、定住促進対策のひとつとして有効な手段である。今後様々な状況を調査・研究しながら検討していく。

TPPに負けてたまるか！

ちょっとひとりごと

自治会未加入対策は 喫緊の課題

市長／自治会に関するアンケート
調査をおこなっている



迫 杉雄 議員

問 自治会未加入戸数が今後、市政発展にどのようなながれ状況をもたらすか、弊害的展望について市長の見解を伺う。

市長 自治会は、地域住民と行政とのパイプ役をはじめとして教育、福祉、防犯など、様々な分野で地域コミュニティの中心組織として地道な地域活動を展開し、住みよい地域づくりを支えている。



自治会による美化活動

問 全国的、各自治体を取り組んでいる「自治会未加入対策促進条例」(仮称)なるものを制定すべきであるが。

市長 現在「自治会に関するアンケート調査」をおこなっている。結果を待って、議会をはじめ、自治会や市民の意見を伺い、先進地の事例を参考にしながら対応する。

まち・ひと・しごと 創生総合戦略は

問 曾於市創生総合戦略により人口増ビジョン五カ年計画と第二次曾於市総合振興計画により、人口ダム機能の研究をして人口流出を食い止める取り組みが手薄いが議論はどうであるか。

市長 定住に向けた公営住宅の整備や宅地分譲を推進し、本市の存在と魅力を発し、定住の候補地としてもらう

ため、各種支援策の効果的な、PRをする交流体験事業等の観点から本市の魅力を実感してもらい取り組みを推進する。

問 曾於市独自の若者定住について、U・I・Jターン等のもとより返済免除の奨学金制度に取り組むべきであるが、創生総合戦略の中で議論はなされたのか、金融機関との対応はなかったのか。

教育長 返済免除の奨学金制度についての取り組みが、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の段階では議論していない。また、市内各金融機関との打合わせもしていないが、今後、市外へ進学する若者をUターンしてもらい、市外へ進学する若者に対しての議論をして、返済免除の奨学金制度についても検討したい。

曾於市総合戦略重点プロジェクト

- 1 しごと「そお生」プロジェクト
- 2 にぎわい「そお生」プロジェクト
- 3 家族の笑顔「そお生」プロジェクト
- 4 生活環境「そお生」プロジェクト

自治会未加入対策こそ、
住みよい地域になる

ちょっとひとりごと



「ゆずの里・曾於市」の マイクロバスによる広報を

市長／ゆずと曾於市ゆるキャラを含めて描きたい



上村 龍生 議員

問 6次産業化推進事業の現状と今後の見通しは。

市長 現在、曾於市内の8事業所が申請をされ、鹿児島6次産業化サポートセンターと事業者で商品づくり・施設整備等の協議を行いながら、有利な事業導入等を検討している。農産物に付加価値をつけて有利販売すること



九州一のゆず産地

や、市場での販売価格が安定しないことを考えると、6次産業化の取り組みは、今後も増加してくると思われる。

問 6次産業化の大きな成功例として「曾於市におけるゆず栽培の取り組み」がある。現状と今後の見通しは。

市長 作付面積93ha、会員409名、年間800トン前後の生産量となっている。合併後33ha増園しており、その園が収穫できる成園になると、生産量の大幅な増加が予想されるので、平成29年度を目途に一次加工施設の増設を検討していく。

問 作付面積・生産量ともに九州一でありながら、そのことが県内外にあまり知られていない。生産者から「ゆずの里・曾於市」を市のマイクロバスに大きく描き九州管内を走り

回らせて宣伝してくれとの要望があるが。
市長 ありがたい提案なので、ゆずとゆるキャラ「そお星人」を含めてバスに描きたい。

債権管理は

問 曾於市の現状では、債権管理が不十分なところがあり、新たな取り決めである条例制定の必要がある。しかし、市債権は財政上最も市の利益に適合するように管理されなければならぬ。特に、債権放棄については、これまで個別に議会の議決を要する重要案件であったものを条例に定めることにより議決なしに債権放棄できることになる。これまで以上に慎重な取り扱いが求められる。具体的には、より抑制的・限定的な運用が求められると思うが、市長の見解を求めらる。

市長 市として債権放棄については、慎重に抑制的・限定的な運用に努める必要がある。



マイクロバスを活用し曾於市のPRを!



曾於市はゆず栽培九州一!

ちょっとひとりごと

暮らしやすく

やさしいまちづくりを

市長／公共施設には障害者用駐車スペースを設ける



伊地知厚仁 議員

設の整備、管理については、樹木の伐採など、路面の補修など予算を計上し整備していきたい。

問 公共施設の障害者用駐車場の実態は。

市長 庁舎の障害者用駐車場は、本庁・各支所それぞれ設置されているが、今後、公共施



設置された障害者用駐車場（大隅支所）

弥五郎の里周辺整備は

問 弥五郎の里周辺整備について、これまでの経過は。

市長 片側にしか歩道がないため、県当局に対し、曾於地区土木協会や曾於地域土木事業連絡会、県との行政懇話会など、あらゆる機会に歩道設置を要望している。

問 桜のライトアップ（照明）の改善は考えられないか。

市長 今年度、合併10周年記念事業として桜の植栽を計画している。今後の状況を見ながら検討していきたい。

問 多目的広場利用者へ屋根つき休憩施設はできないか。

市長 現在ある休憩施設の屋根に、雨よけと日よけの増設を計画していきたい。

水道事業の給水区域は

問 市の管理する配水管・各戸が管理する配水管はどのように定められているのか。

市長 市の管理する配水管は大字、小字で管理し、区域を定めている。配水管から分岐給水する場合は、個人負担で給水管及び給水装置を設置するが、合併後に本管からメーターボックスまでは、市で維持管理をしている。

問 本管配水管の延長は。

市長 市水道は、区域内で配水管から分岐給水が可能であれば、個人負担だが、距離は遠くても接続可能である。また、一戸当たり20mまでは、市が負担とする。

問 小規模水道施設事業の補助率の改正は。



歩道整備が望まれる弥五郎の里周辺

市長 市内の小規模水道施設を利用されている自治会と十分に協議を重ねていく必要がある。今後検討していく。

問 地域振興住宅へ農業後継者の入居は考えられないか。

市長 農業後継者が安心して生活できる住環境を整えるのは重要なことである。地域振興住宅の目的とするところや平等性等について十分検討する必要がある。

マナーを守ることが大事

ちょっとひとりごと

危機管理について

市長／平日にゴルフをしていたのは
事実である



今鶴 治信 議員

問 市長は、10月22日（木）の平日に都城市でゴルフをしていたと聞いたが、事実か。

市長 休暇をとってプライベートでゴルフを



財部で行われた防災訓練

したのは事実である。

問 八木副市長は午前中出張、大休寺副市長と谷口教育長も休暇と聞いたが事実か。

市長 たまたまその日は、行事等の公務もなくそれぞれ休みをとった。

問 いつ南海トラフ地震等の大災害が発生するか予測できない。市の3役は、できるだけ同時に休むのを避けるべきである。危機管理の意識が気薄ではないか。

市長 緊急に備えていつでも総務課長と連絡をとる体制はとっている。

市長交際費は

問 平成26年度決算において、市長交際費の中に初七日・初盆に供花・果物等があったが、市長交際費の規則・慶弔規定は、定められているのか。

市長 市長交際費支出基準が、平成20年度に定められている。

問 心情的には、理解するが、国会で大臣が、香典や枕花のことで大きな問題になっている。初七日・初盆等は、宗



長野県須坂市の取り組み

教行事であるので政教分離の観点から市民に誤解を受ける可能性はないか。

市長 支出基準に「市長が特に認めたもの」とあるので問題はない。

在宅医療・介護は

問 曾於市の在宅医療・介護体制は。

市長 在宅医療と介護を一体的に提供するために平成25年度から曾於医師会立病院に在宅医療推進支援室を設置し「在宅医療推進地域

支援事業」を実施している。

問 国の方針では、平成30年度から在宅医療・介護連携事業の取り組みが必須となるが、曾於市の対応は。

保健課長 市としては
①切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進
②医療・介護関係者の研修

③地域住民への普及啓発について、曾於医師会立病院と2市1町で進めていけるように計画する。

市のトップは常に緊張感を持って危機管理を！

ちょっとひとりごと

高齢者による 交通事故の対策は

市長／警察署と連携して事故防止につとめる



沢合 昌昭 議員

問 曾於市内高齢者による交通事故の件数及び内容は。

交通事故の件数は155件、死者3人を含む死者数200人で、うち高齢者は53人で全体の26.5%となり、前年より14人の増となっている。

問 高齢者を交通事故から守るために行政としての指導、対策は。

また、曾於地区交通安全協会や交通安全父母の会へ運営補助を行い、高齢者対策を含めた効果的な運動をお願いしている。

高齢者団体に対しては、高齢者向け講習車「さわやか号」を年6回程度警察に派遣要請し、運転適正判断、交通安全講話を実施している。

問 高齢者が運転免許証を返納した場合の取り組みは。

市長 運転免許証を自主返納された方には、平成22年度から思いやりタクシー及び思いやりバスに無料で乗車できる乗車券を発行している。

市内病院、クリニックの現状は

問 市内病院、クリニックの現状は。

市長 今年に入り市内クリニックが8月末に1カ所閉院し、また11月に入り1カ所が休診となっており、今後インフルエンザ等の流行が予想され一部の医療機関に患者が集中すること待ち時間が長くなることが予想される。

問 医療、クリニックの閉鎖、一時休業で老人施設の医師確保対策は。

市長 介護福祉施設、特別養護老人ホームについては、設備及び運営の基準に基づき、医師を配置しなければならぬこととなっており、いずれの施設においても、現在嘱託医が配置されているところである。閉院、休診の

クリニックの医師は嘱託医ではなかったため問題はないところである。



市内の医療機関



今日も交通事故ゼロ

交通事故のない
明るいまちづくりを！

ちょっとひとりごと

市の責任で分筆と 拡幅工事をすべきでは

市長／当然のこと、早急に指示したい



宮迫 勝 議員

問 建築行為を行う際に、その土地が狭い道路に接している場合、建築主にセットバックという行為が求められる。どのようなものか。

市長 建築基準法で「幅員4m以上の道路に2m以上接しなければならぬ」という接道義務がある。しかし、4mに満たない道路もある。この場合、道路の中心線から2m敷地を後退させることで建築が可能となる。この敷地境界線の後退をセットバックと言う。



セットバックの現場

問 曾於市でもセットバックが必要か。

市長 曾於市でも中心線より2m敷地を後退させないと、建築許可がおりないので必要である。

問 曾於市でセットバックを行い、後退した部分を市の道路に寄付する旨の申告をしたが、個人で分筆してから提供してくれと言われた。

市長 市の責任で分筆して拡幅工事を速やかに行う要綱が必要ではなか。

市長 法律に従いセットバックしたのだから、市の責任で行うのは当然のことである。早急に指示したい。

市の公共施設に関する市民アンケートは

問 公共施設の集約に関する市の考え方は。

市長 今後とも必要と思われる施設は、複合化や多機能化を図り、統合できるものは利便性の高い施設に改修することの検討も必要である。

問 今回の市民アンケートの目的は何か。

市長 市民の方々の施設に対する考え方や利用状況、意向を聞いて、今後の施設の在り方を検討する基礎資料とすることを目的に実施した。

観光振興について

問 商工観光課の新設で何を指すのか。

市長 ふるさと納税で特産品の販売競争が激



曾於市のゆるキャラ「そお星人」

化しており、PR活動の重要性と影響が大きくなっている。特産品販売や来訪者の増加で、地域や地場産業の活性化に期待したい。ゆるキャラ「そお星人」を大いに活用したい。

問 キャンピングカーで車中泊できるRVパークを曾於市に設置できないか。

市長 大川原キャンプ場を検討していたが、日本RV協会の認定基準によれば、温泉やコ

ンビニが近くにある。かの7つの条件がある。それらの基準を考えれば、道の駅を核とした施設がよいと考える。

道路が早く
広がりますように

ちょっとひとりごと

公約の退職金廃止は できるのか

市長／任期中に条例を議会に提案する



大川内 富男 議員

問 市長は議員時代、市長他三役の退職金を廃止すれば約5千万円の縮減になると言われていたが、なぜ今は市長だけの退職金廃止に変わったのか。

市長 市長選挙では、市長の退職金は廃止を訴えてきた。

問 市長は議員時代、副市長、教育長の退職金廃止も言われていたが。

市長 副市長、教育長の退職金は支給する。現行どおりである。



自治会館内にある
県市町村総合事務組合

問 公約の市長退職金廃止はどのようにして実現していくのか。

市長 鹿児島県市町村退職手当事務組合と協議して、市の条例を議会に提案する。

問 前総務課長は市の条例では退職金廃止はできないと答弁していたが、その協議内容は。

副市長 県市町村課等との協議の結果、3つの方法があると聞いており

- ① 県市町村退職手当組合の脱退
- ② 市長が退職金を拒否した場合、法務局へ供託する（その後、国費となる）
- ③ 市の条例を改正するという方法である。

問 確認するが市の条例で市長の退職金廃止が確実にできるのか。

市長 条例を議会に提案する。

問 いつまでに提案するのか。

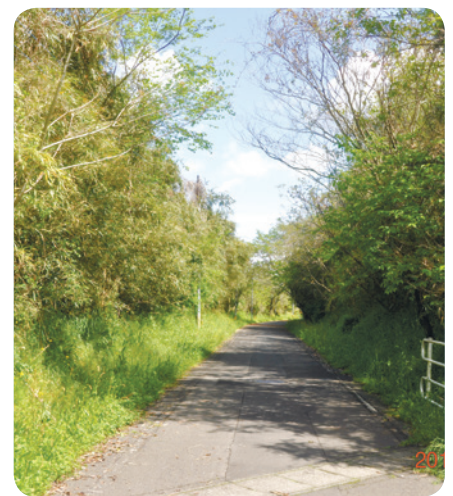
市長 市長の任期中に提案する。

問 マインドロードは市道清掃は

問 マインドロードを清掃する公民館と他の公民館との不公平感をあらためて強く感じるが。

市長 一部、市でやるべきとの意見もあるが、今後ともご協力いただきたい。

問 3月議会において補助金を出しているので自治会は潤っているはずだと答弁されたが、とんでもない。自治会によっては、補助金の額より草刈機等による支出金が上回り、また、自治会員が作業



年々、清掃作業が困難になるマインドロード

に参加できない場合、徴収金も取られることもあると聞くが。

市長 徴収金の問題は各自治会の問題である。

問 共同作業をする場合欠席者には徴収金を取る等、規則を決めておかなければ参加者がいなくなる。また、高齢化率が36.5%以上と非常に高く高齢者の作業が難しくなっている。早く市の方で清掃をして頂きたい。

市長 現在、一部の公民館や自治会で負担を感じているところもあ

るが、現段階では引き続きご協力願いたい。

問 一般市道は自治会未加入世帯を含めた市民全体で清掃をすべきでは。

市長 市民に啓発していく。

主義主張も
変わるもんだなあ
ちよっとひとりごと

集落水道に対し 3分の2補助を

市長／財政状況など十分検討し協議をする必要がある



大川原主税 議員

問 集落水道の数は。

市長 末吉地区9組合で460人、大隅地区48組合で4000人、財部地区で36組合1800人、合計93組合で6260人ある。

問 上水道、簡易水道と比較すると、小規模水道に対する補助を増額すべきではないか。他の自治体では3分の2の補助率のところもある。

市長 補助率のアップについては、財政状況など十分検討しながら協議を重ねていく必要がある。



ふるさと道のサポート
(県との協定 吉ヶ谷むらづくり会)

道路行政及び 交通対策は

問 県道の関係で、村づくりでは、県と協定を結んで美化活動を実施して5年目になる。評価と市独自の取り組みの考えは。

市長 ふるさと道の道サポーターとして市内5つの団体が活動中である吉ヶ谷村づくり会については、県道都城・隼人線の約5kmの区間において、5年間にわたり積極的な美化活動に取り組み、市内の美化に多大な貢献をされている。さらにこれらの活動を広げる必要がある。

林業振興策は

問 平成26年度の間伐、主伐、植林面積は。

市長 間伐84.7ha、主伐315ha、植林、96.3haである。

問 再造林率は。

市長 26年度は、59%である。

問 再造林を強力に進めるべきと思うが、具体策は。

市長 森林組合、素材業者をはじめ、県・市といっしょになって再造林推進検討委員会を立ち上げ、1月には、1回目の会合を実施する。

問 森林資源を活かしたまちづくりは。

市長 第1に人口林率が高い本市は、木材の生産の場として利用し、林業振興を図っていく。

第2に悠久の森・憩いの森などの天然性林の資源も多いため、これらを自然休養の場・レクリエーションの場として活用したまちづくりを進めていきたい。

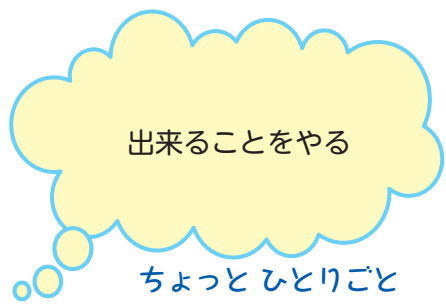


伐採後、再造林された山林

焼肉イベントの 内容は

問 焼肉イベントの必要性、目的と効果は。

市長 弥五郎伝説の里を桜の名所として定着させ農土家市や農畜産物を広く市内外にアピールし、交流人口を増やすことを目的としている。社会福祉協議会とも連携することで多くの参加を見込める。



出来ることをやる

ちょっとひとりごと

新地公園（グラウンドゴルフ場）の現状は

市長／工事の発注を12月にする



岩水 豊 議員

問 新地公園（グラウンドゴルフ場）の現状は。

市長 土地の買収は、完了していないが、工事の発注を12月にする。

問 土地の買収単価は、いくらか。

市長 10a当たり200万円から300万円である。市道に接している土



ナイスショット！

地とそうでない土地には、価格差を設けている。

問 胡摩地区は、10a当たり30万円であった。10倍近い価格差があるが。

市長 新地地区は、市街地なので単価に差が出る。また、当初の計画どおりに完成できるように進めていきたい。

胡摩地区の現状は

問 9月議会で指摘した胡摩地区の登記の錯誤問題の処理はされたか。

市長 用途変更の同意が全員得られてから錯誤処理をしたい。

問 買収地の用途変更の同意は完了したか。

市長 まだ、全員の同意はもらえてない。

問 この膨大な土地の活用計画は、できているのか。

市長 現在のところ、計画は立っていない。

公共工事の円滑な施工の確保は

問 国より要請のあった最低制限価格の見直しを実施する計画はないか。

市長 来年2月の入札制度検討委員会に諮り、国の指示を含め、検討する。

まち・人・しごと創生総合戦略人口ビジョンは

問 曾於市の将来人口の推移は、本市独自の推計と、国の研究所の推計の差は。

市長 2060年の国の推計は1万5021人であるが、曾於市の目標は、2万5151



人家を守る急傾斜工事

人としている。総合戦略ビジョンを踏まえ、第2次総合振興計画における施策の進捗度と合わせて確認を行うことで目標を達成できるようにしたい。

胡摩地区は全員の同意がないと土地活用は、しない。新地公園は、未買収地があるのに、事前着工。予定通りに完成するのか心配

ちょっとひとりごと

岩川高校跡地の有効活用は

市長／岩川小学校の移転改築を検討

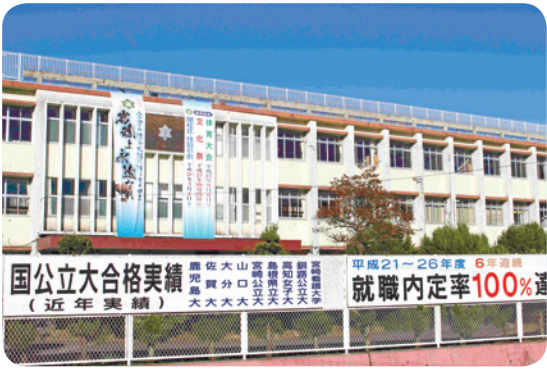


坂口 幸夫 議員

手ぬるいと考ええる。地域住民は、市長の行動力に期待しているが市長としての考えを示さりたい。

問 いよいよ岩川高校が来年3月をもって閉校になる。市として跡地の有効活用について、県の指示待ちでは

市長 市教育委員会が県教育委員会高校教育課を訪問し、本市の現状等を伝え、県の状況や考え方について協議



平成 28 年 3 月で閉校となる岩川高校

してきた。県の考え方は、岩川高校の跡地については、県として活用する計画がないことから、できるだけ地元の要望に沿いたいとのことであった。市としての岩川高校跡地の活用策については、岩川小学校の移転改築が望ましく、その方向で準備に入りたいと考えている。

教育行政について

問 市内3中学校のいじめ、不登校の現状は。

教育長 昨年度の市内3中学校のいじめは、11件だったが、本年度は3中学校で、現時点で1件の報告である。

不登校については、昨年度27人であったが、本年度現時点で11人である。各学校で組織をあげ、きめ細やかな取り組みが成果をあげているものと判断している。

大隅鳥獣保護区の現状は

問 保護区内の被害が拡大するなか、地域住民から保護区の指定解除・縮小を望む声が多い。市長としての考えを示されたい。

市長 地域から保護区解除・縮小の声が多いことから県と協議したところ、地域からの解除・縮小の要望文書を県に提出することにより、相互協議しながら解除・縮小ができるように今後進めていく。

市道の交通安全対策は

問 市道笠木・馬渡線と農道笠木原2号線の交差点で事故が多発している。

この交差点には、農道の方に笠木原土地改良区による簡易な交通安全看板があるだけである。市道側にも安全



市道笠木・馬渡線と農道2号線の交差点

運転の注意喚起につながる対策が必要と考えられるが、市長の考えを示されたい。

市長 現地調査したところ、市道側については交差点を示す表示がないので、交差点路面上へのクロスマークの設置や「交差点あり」などの警戒標識を早急に設置し、注意喚起に努めていく。

市民の皆様にとって
平成 28 年がすばらしい
年になりますように！

ちょっとひとりごと